



八月(大)葉月 氏宿

(八月七日立秋の節より)
月命壬申二黒土星の月
暗剣殺西南方

旧七月小
八月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	金	きのえ たつ	五黄	八朔、水の日、諏訪お舟祭、横濱身代り不動尊、胃腸病對大護摩、大宮氷川神社例祭、旧七月小	六	赤口	おさん	鬼	大みやう	4.49	18.46	9.26	21.21
2日	土	きのと	四緑	旧七夕、宇佐神宮夏越大祭(1日)3日、八戸三社祭、鬼貫忌	七	先勝	ひらく	柳	大みやう	4.49	18.45	9.26	21.21
3日	日	ひのえ うま	三碧	青森ねぶた祭(2日)7日、秋田竿燈(6日迄)、桑名石取祭、多賀大社萬燈祭、三隣亡、一粒万倍日	八	友引	とづ	星	大みやう	4.50	18.44	9.27	21.21
4日	月	ひのと ひつじ	二黒	●上弦九時五分、京都北野天満宮例祭	九	先負	たつ	張	くま日	4.51	18.43	9.27	21.21
5日	火	つちのえ	一白	久留米祭、山形花笠祭(7日迄)	十	佛滅	のぞく	翼	神よし	4.52	18.42	9.28	21.21
6日	水	つちのど	九紫	広島平和記念日、仙台七夕(8日迄)、一粒万倍日、不成就日	十一	大安	みつ	軫	百事よし	4.52	18.41	9.28	21.21
7日	木	かえいぬ	八白	立秋二時〇二分、鼻の日、木曾御嶽教御神火祭、東京佃祭、末伏	十二	赤口	みつ	角	百事吉	4.53	18.40	9.29	21.21
8日	金	かのと	七赤	下関忌宮敷方庭祭(7日)13日、新潟祭(10日迄)、三隣亡	十三	先勝	たいら	亢	大みやう	4.54	18.39	9.29	21.21
9日	土	みづのえ	六白	長崎原爆の日、京都清水寺千日詣り(16日迄)、宝塚中山寺夏会式、八せん始め、一粒万倍日	十四	友引	さだん	氏	天おん	4.55	18.38	9.30	21.21
10日	日	みづのうし	五黄	旧ぼん、館山安房神社祭、西鶴忌	十五	先負	とる	房	●	4.56	18.37	9.30	21.21
11日	月	きのえ とら	四緑	●望三時〇九分、高知よさこい祭(9日)12日	十六	佛滅	やぶる	心	ぶく日	4.57	18.36	9.31	21.21
12日	火	きのと	三碧	徳島阿波踊り(15日迄)	十七	大安	あやぶ	尾	神よし	4.58	18.35	9.31	21.21
13日	水	ひのえ たつ	二黒	月遅れ盆迎え火	十八	赤口	なる	箕	大みやう	4.59	18.34	9.31	21.21
14日	木	ひのと	一白	鶴岡荘内大祭、不成就日	十九	先勝	おさん	斗	月とく	4.59	18.33	9.31	21.21

一年を通じて、一番暑さを感じるのこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝かえをしたり、暑さのために疲労が蓄積したりし、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、小児、高齢者の日射病、熱中症には注意が必要。

【婚】この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。仲人の由来と役割を簡単に説明しておく。仲人は結婚の媒酌人のことで、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」に「本書記」の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んで、仲介者の必要度がたかまった結果であろう。仲人親といつて夫婦の振り返りする言葉もあるくらいである。仲人は夫婦揃っての

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	金	つちのえ	九紫	月遅れ盆、終戦記念日、全国戦没者追悼式、東京富岡八幡宮祭、奈良春日大社万灯籠	廿	友引	ひらく	牛	神よし	5.00	18.30	9.30	21.21
16日	土	つちのえ	八白	月遅れ盆送り火、京都・箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭	廿一	先負	とづ	女	神よし	5.00	18.29	9.30	21.21
17日	日	かえいぬ	七赤	●下弦二時二六分、滋賀建部夏祭	廿二	佛滅	たつ	虚	大みやう	5.01	18.28	9.30	21.21
18日	月	かのと	六白	千葉だらだら祭(16日)22日、伝教大師誕生会	廿三	大安	のぞく	危	十し	5.02	18.28	9.30	21.21
19日	火	みづのえ	五黄	秋田花輪ばやし、旧地蔵ぼん	廿四	赤口	みつ	室	母倉	5.03	18.26	9.30	21.21
20日	水	みづのと	四緑	鎌倉市鎌倉宮祭、八せん終り、三隣亡	廿五	先勝	たいら	壁	ちう日	5.03	18.25	9.30	21.21
21日	木	きのえ	三碧	甲子、一粒万倍日	廿六	友引	さだん	奎	天おん	5.04	18.24	9.30	21.21
22日	金	きのと	二黒	不成就日	廿七	先負	とる	婁	●	5.05	18.23	9.30	21.21
23日	土	ひのえ とら	一白	処暑一三時四六分、一遍上人忌	廿八	佛滅	やぶる	胃	天おん	5.06	18.21	9.30	21.21
24日	日	ひのと	九紫	京都地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会	廿九	大安	あやぶ	昂	神よし	5.06	18.20	9.30	21.21
25日	月	つちのえ	八白	●朔二時一三分、旧八朔、東京亀戸天神祭、旧八月大	朔	友引	なる	畢	天おん	5.07	18.19	9.30	21.21
26日	火	つちのと	七赤	富士吉田火祭、二日灸、己巳、不成就日	二	先負	おさん	觜	大くわ	5.08	18.17	9.30	21.21
27日	水	かえいぬ	六白	愛知一色大提灯、神奈川大山阿夫利神社秋季大祭、大つち	三	佛滅	ひらく	参	ぶく日	5.09	18.16	9.30	21.21
28日	木	かのと	五黄		四	大安	とづ	井	大みやう	5.10	18.15	9.30	21.21
29日	金	みづのえ	四緑		五	赤口	たつ	鬼	大みやう	5.10	18.13	9.30	21.21
30日	土	みづのうし	三碧		六	先勝	のぞく	柳	十し	5.11	18.12	9.30	21.21
31日	日	きのえ	二黒		七	友引	みつ	星	母倉	5.12	18.11	9.30	21.21

が普通であり、人間、一生に一度は仲人をするものといわれている。

仲人役を引き受けながら、婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。

【葬】七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。

【祭】七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の「大文字」、徳島の阿波踊りなどが有名である。

この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街は焼け野原となり、数十万の人が命を落とし負傷した。人類として忘れられない日である。

広島・長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。

十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。